

マンゴー (果樹類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	炭疽病	灰色かび病	うどんこ病	軸腐病	かいよ病	枝枯細菌病	ゆめ合促進
I Cボルドー66DFL	M1		-	-					◎		
バチスター水	BM2		*a	-		◎		◎			
ボトキラー水	BM2		*b	-		◎					
マスタピース水	NC		1	-					◎	◎	
アミスター10FL	11		1	1	◎						
ストロビーDF	11		1	3	◎						
フルピカFL	9		14	3		◎					
セイビアーFL20	12		1	3	◎						
スミレックス水	2		21	3				◎			
ロブラール水	2		7	3		◎					
トリフミン水	3		7	3			◎				
バッチレート塗	M1		*c	1							◎
ジマンダイセン水	M3		45	2	◎						
ペンコゼブ水	M3		45	2	◎						
オーソサイド水80	M4		7	3	◎						
ベルコート水	M7		14	2	◎						

*a: 発病前～発病初期

*b: 開花期～幼果期

*c: 剪定時及び病患部削り取り直後

マンゴー (果樹類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒毒性	使用時期(日数)	使用回数	アザミウマ類	チャノキイロアザミウマ類	カイガラムシ類	コナカイガラムシ類	スカシバ類	ドクガ類	ハマキムシ類	カミキリムシ類	ハダニ類	チャノホコリダニ
スピノエース顆水	5		3	2		◎								
アタックオイル	UNM		*a	-									◎	
スピンドロン乳	UNM		*b	-									◎	
スプレーオイル	UNM		*c	-									◎	
ハーベストオイル	UNM		*g	-									◎	
スワルスキープラス	-		*f	-		施								
パイレーツ粒	-		*d	-		◎								
マイコタール	-		*i	-		施								
キラップFL	2B		7	2		◎								
アーデント水	3A		3	2	◎	○								
トレボン乳	3A		7	3		◎								
ロディー乳	3A	劇	14	2		◎								
ロビンフッドエアゾル	3A		1	5				◎				◎		
アクトラ顆溶	4A		14	2	◎	○								
アドマイヤー顆水	4A	劇	14	2	◎	○								
アルバリン顆溶	4A		1	3		◎								
スタークル顆溶	4A		7	3	◎	○		◎						
ダントツ溶	4A		7	2		◎								
ベストガード溶	4A		7	2		◎								
モスピラン顆溶	4A	劇	35	3	◎	○	◎	○						
トランスフォームFL	4C		3	3			◎							
ディアナWDG	5		1	2		◎								
デリゲートWDG	5		1	2		◎								
コルト顆水	9B		1	3		◎								
バロックFL	10B		7	2									◎	
コテツFL	13	劇	14	2		◎								
カスケード乳	15		3	2		◎								
アブロードFL	16		3	2			幼	幼						◎
ロムダンFL	18		21	2						◎	◎			
カネマイトFL	20B		7	1									◎	
マイトコーネFL	20D		7	1									◎	
サンマイト水	21A	劇	30	2									◎	◎
ピラニカ水	21A	劇	14	1									◎	
エクシレルS E	28		7	2	◎									
ウララ50D F	29		7	2		◎								
ファインセーブFL	34	劇	1	2	◎	○								

*a: 緑枝硬化期～出蕾期 *b: 収穫後～幼果期 *c: 10月～3月
 *d: 発生前～発生初期 *f: 発生直前～発生初期 *g: 収穫後～萌芽前
 *i: 発生初期
 施: 施設栽培 幼: 幼虫

マンゴー

マンゴー(果樹類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
炭疽病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 雨よけ栽培を行う。 2. 病果、病葉、病枝を除去する。 3. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター10フロアブル 1000倍 オーソサイド水和剤80 600倍 ジマンダイセン水和剤 800倍 ストロビードライフロアブル 2000倍 	病原菌は多犯性菌で多くの植物に炭疽病を起こす。
灰色かび病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設では過湿に注意する。 2. 罹病した茎葉や果実はただちに処分する。 3. 発生を見たら次の薬剤を散布する。 ロブラール水和剤 1000倍 	
かいよう病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 雨よけ栽培を行う。 2. 病果、病葉、病枝を除去する。 3. 台風や大雨の前後に次の薬剤を予防的に散布する。 ICボルドー66D(FL) 40～50倍 	病原細菌は強い風雨などにより生じた傷より侵入する。
アザミウマ類		<ul style="list-style-type: none"> ・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤー顆粒水和剤 5000～10000倍 エクシレルSE 2000倍 	
チャノホコリダニおよびハダニ類		<ul style="list-style-type: none"> ・発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンマイト水和剤 1000～1500倍 	